

教科書データベース初期構築の完了と企画展示 「島根大学教科書コレクションにみる教科書のあゆみ」

島根大学企画部図書情報課情報サービスグループ 昌子喜信

1. はじめに

島根大学附属図書館（以下「本学図書館」という。）は、主に前身校から受け継ぎ、長らく未整理の状態でも保管していた教科書資料の整理及びデータベース化の作業を2013（平成25）年度から開始し、2017（平成29）年度はじめに完了した。これらの教科書資料群（以下「教科書コレクション」という。）は異なる来歴の複数の資料群から構成されており、来歴ごとの資料群の概要と整理作業及びデータベース化作業の概要を中間報告として先に報告したところである¹⁾。

本稿は、データベースの初期構築作業が完了したことにより明らかになった教科書コレクションの現況について報告するとともに、2017（平成29）年10月に開催した企画展「島根大学教科書コレクションにみる教科書のあゆみ」展について報告を行うものである。

2. 教科書コレクション

2.1 教科書コレクションの現況

教科書コレクションは、表1の区分ごとに整理を行い、データベースに登録した²⁾。それぞれの区分ごとの点数・冊数を整理すると表1のとおりである。

表1 教科書コレクションの区分ごとの点数及び冊数

区 分	点数 (書誌件数)	冊数 (所蔵件数)
①児童・生徒用教科書（現行検定教科書以前）	1,286	3,304
②児童・生徒用教科書（現行検定教科書）	5,943	13,422
③師範学校 学生用（教師教育用）教科書	183	301
④旧制松高 学生用教科書	1,542	1,851
⑤農科大学 学生用教科書	166	210
⑥教育課程文庫 (①②に該当するものを除く)	2,052	2,344
⑦CIE	268	285
合 計	11,440	21,717

整理作業及びデータベース登録作業が完了したことにより明らかになったコレクションの現況を以下に整理しておく。

①児童・生徒用教科書（現行検定教科書以前）

この区分の教科書は、年代的には江戸時代の終わり頃の「往來物」（平安時代から明治初め頃まで使用された教科書）から現行検定教科書制度が始まる1948（昭和23）年までのものが含まれる。和装本と洋装本とがあり、同じ請求記号の体系の中で整理をしているが、保管上の都合により配架場所を分けている。

これらの教科書の中には、表紙に「松江図書館」のラベルが貼られているものが約330点・約1,200冊ある。このラベルが貼られた図書は、江戸時代終わり頃から明治30年頃までの刊年をもつもので、和装本に多く、洋装本にも若干みられる。これは、1899（明治32）年に設立された私立松江図書館の後身である鳥根県立図書館から、新制鳥根大学発足後に鳥根大学附属図書館松江分館（教育学部が置かれた外中原キャンパスにあった）に寄贈されたものである³⁾。なお、「松江図書館」のラベルが貼られた図書（和装本）は、本学図書館の第2貴重資料室にも多数収蔵されている。第2貴重資料室の「松江図書館」のラベルが貼られた図書は、鳥根県立図書館から文理学部が置かれた川津キャンパスの附属図書館本館に寄贈されたものである。この中でもこの期の教科書が一定数含まれており、今後調査が必要であると考えている。

「松江図書館」のラベルが貼られている教科書の他は、1875（明治8）年設立の小学教員伝習所に始まり、その後、松江師範学校、島根県師範学校、島根県尋常師範学校、島根県師範学校、官立島根師範学校を経て島根大学教育学部へと変遷をたどっていく「師範学校」の流れの中で受け継がれてきたものである⁴⁾。

②児童・生徒用教科書（現行検定教科書）

この区分の教科書は、現行の教科書検定制度が始まる1949（昭和24）年から概ね昭和30年代半ば頃までの教科書が約6割を占める。松江分館（教育学部分館）時代に作成された8分冊からなる教科書目録の第8分冊目は、表紙に『島根大学附属図書館教育学部分館 教科書目録（昭和34年度使用）』とあり、昭和29年～昭和35年発行の教科書が掲載されている⁵⁾。教科書目録は、この目録を最後にその後は編纂されなかったようである。外中原にあった教育学部分館が川津の本館に統合されたのが1961（昭和36）年であり、本館統合を契機として教科書の組織的な収集がなされなくなったものと考えられる。

さらに、現行検定教科書の内、約6割（約3,200点・約8,200冊）が「教育課程文庫」⁶⁾として寄贈を受けたものである。採択用の見本版が全体の7割近くを占めている。教育課程文庫とそれ以外のもの別に見本版と正規版の冊数割合を示すと次のとおりである。

表2 見本版と正規版の点数及び冊数

	見本版		正規版	
	点数 (書誌件数)	冊数 (所蔵件数)	点数 (書誌件数)	冊数 (所蔵件数)
教育課程文庫	2,196	5,660	1,012	2,600
教育課程文庫以外	1,691	3,363	818	1,799
合計	3,887	9,023	1,830	4,399

③師範学校 学生用（教師教育用）教科書

この区分の教科書は、教育学部の前身である島根師範学校（その前身校を含む）の教員養成課程の教科書として使用されたものである。この区分で整理された教科書は冊数が少なく、実際に師範教育で使用された教科書の多く

はここに含まれていないようである。師範学校の図書館で使用された図書は、積層書庫の4階（所在：「師範」）に保管されているが、この中にも師範教育で使用された教科書が含まれていると思われる。今後、師範学校の教育課程で使用された教科書のタイトルを明らかにする作業をとおして、書庫4階の「師範」の所在の図書の中から師範教育で使用された教科書が見つかる可能性がある。

④旧制松高 学生用教科書

この区分の教科書は、文理学部の前身である旧制松江高等学校で使用された教科書であり、新制大学発足時に川津キャンパスの附属図書館本館に引き継がれた。表紙裏に教科書であることを示すラベルが貼られている。この区分で整理された教科書は、国語、古典、英語、ドイツ語などの教科書が多くを占めており、理系科目の教科書はほとんど含まれていない。その理由は定かではないが、1949（昭和24）年の島根大学発足時の文理学部が、その後、1978（昭和53）年に法文学部と理学部に分かれたことに伴って何らかの資料の移動が発生し、理系科目の教科書がその時に分離されたとも考えられる。

⑤農科大学 学生用教科書

この区分の教科書は、農学部の前身である島根県立農科大学（その前身校を含む）で使用された教科書である。ただし、この区分で整理された教科書は、農科大学の教育課程で使用されたすべての教科書を網羅しているわけではなく、その一部のようなものである。島根県立農科大学の前身である島根県立農林専門学校が設立されたのは1947（昭和22）年であり、使用された教科書の多くは1949（昭和24）年に始まる教科書検定制度による検定教科書である。

⑥教育課程文庫（①②に該当するものを除く）

この区分の資料は、島根大学に設置された「教育課程文庫」⁷⁾に含まれる教育関係図書であり、米国の教科書及び教育専門書と日本の教育専門書が含まれる。②の区分の教科書にも「教育課程文庫」として寄贈されたものが含まれるが「児童・生徒用教科書」の区分として整理し、この区分には含めない⁸⁾。なお、この区分に含まれる教育関係図書の内、米国の教科書について

は、本学を含む「教育課程文庫」所蔵機関の総合目録が東京学芸大学によって公開されている⁹⁾。

⑦CIE

この区分の資料は、「CIE」のスタンプが押印された資料群である。「CIE」は、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）の下部組織である民間情報教育局（CIE）であり、CIEによって全国23か所にCIE図書館（Information Center）が設置された¹⁰⁾。この区分の資料には、次の2つの系統のものが含まれる。

a) 「C.I.E.寄託図書」または「Donated SCAP CIE」のスタンプが押印され、附属図書館松江分館で受入したことを示すスタンプが押印されたもの（受入日付は1949〈昭和24〉年～1951〈昭和26〉年頃）。

b) 「SCAP CIE Information Center HIROSHIMA」のスタンプが押印されているもの。受入したことを示すスタンプは押印されていない。

b) については、図書の分野がいずれも農学関係であることから、広島に設置されたCIE図書館¹¹⁾から鳥根県立農科大学に寄贈されたものと考えられる。農科大学から受け継いだ図書は、積層書庫7階（所在：農大）に保管されており、この中にもb) のスタンプが押印されているものが含まれている可能性がある。

2.2 今後の収集方針

前節において、データベースの初期構築作業が完了したことに伴い明らかとなったコレクションの現況を概観した。教育課程文庫を除けば、いずれも系統だてて収集されたものではないため、教科書史的に重要な教科書が漏れていることもある。また、多巻ものの中に欠本があるものもある。今後は、次のような方針で収集を行いたい。

- ・教科書史の上で重要なものや欠本は、寄贈、復刻版などにより補充する。
- ・県内の小学校、中学校で使用されている主な出版社の教科書は、現在継続的に購入されてきているが、今後も継続して購入する。

3. 教科書展

教科書コレクションの整理及びデータベースの初期構築が完了したことを受けて、教科書コレクションを紹介する企画展を2017（平成29）年10月に開催した。本章では、企画展示の概要について報告する。

3.1 展示の方針とテーマ

企画展の企画及び準備は、附属図書館研究開発室の室員を中心に館内でチームを組んで行った。本学の教科書コレクションは、系統だてて収集されたものではないために網羅的なコレクションとはなっていないが、初等・中等教育で使用された明治初期から昭和30年代にかけての教科書が年代を追って残されており、コレクションの柱となっている。展示の方針として、本学教科書コレクションの全体像を紹介することを一つの目的としつつも、総花的にならないようにテーマを絞ることにした。

テーマは、1872（明治5）年の学制の公布前後の頃から昭和30年代半ばの第3次学習指導要領の改訂の頃までを年代の範囲として、この間の学校制度の変遷と関連づけながら、教科書のあゆみをたどることにした。特に初等教育で使用された教科書が時代の流れの中でどのように影響を受けながら変わってきたのかを展示をとおして提示することにした。

3.2 展示構成

展示は次の6部構成とし、冒頭に本学の教科書コレクションの全体像を概説したパネルと学校制度と教科書制度の変遷を示す年表を掲示した。

- ①近代教育の幕開け（学制の発布、翻訳教科書、儒教主義への転換）
- ②検定制度のはじまり（小学校令、教育勅語、明治検定制度）
- ③教科書国定制度のはじまり（第1期国定教科書・第2期国定教科書）
- ④大正デモクラシーから戦争の時代へ（大正デモクラシーと第3期国定教科書、国家主義の高まりと第4期国定教科書、国民学校と第5期国定教科書）
- ⑤教育の民主化（戦後の教育改革、学習指導要領、文部省著作教科書）
- ⑥戦後の検定教科書のはじまり（検定制度の整備、第2次学習指導要領、第



図1 展示の様子



図2 ギャラリートーク

3次学習指導要領)

上記の構成ごとに解説パネルを作成し、関連する教科書を展示した。資料保存上の問題がないと判断される教科書は、実際に手に取って試みることができるよう配置した。展示した教科書は本稿末尾の別表のとおりである。

なお、開催期間中にギャラリートークを2回開催し、展示解説と教科書コレクションが置かれている書庫内を案内する書庫ツアーを実施した。2回合わせて20人の参加があった。

3.3 アンケートから

2017（平成29）年10月10日（火）から10月22日（日）までの2週間の展示期間中における、来場者数と1日平均入館者数は表3のとおりである。来場者数は、展示室入口に設置した簡易アクセスカウンターで取得したデータを集計したものである。

表3 展示会来場者数

展示期間	日数 (日)	来場者数 (人)	1日平均来場者数 (人)		
			平日	休日	全期間
10月10日(火) ～10月22日(日)	13	326	33	8	24

来場者に対してアンケートを実施し、19名から回答を得た。結果は図3から図5のとおりである。

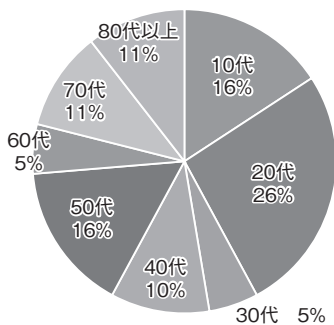


図3 回答者の年齢

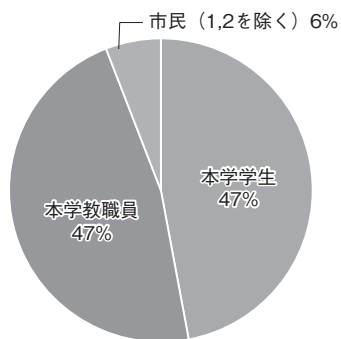


図4 回答者の区分

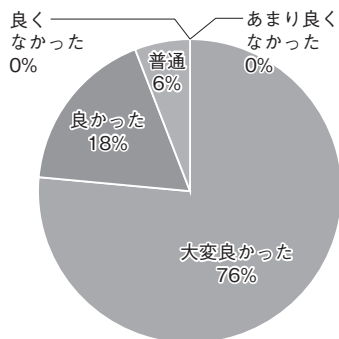


図5 展示内容の満足度

アンケートの自由記述の中から、「評価する意見」と「要望」を抜粋して示す。

評価する意見

- ・ 書庫内のコレクションを見て死蔵したままはもったいないと思っていたので、またとない企画と思いました。
- ・ 本学の蔵書であり、このようにテーマとして展示していただくことで手に取って見ることができてありがたかったです。
- ・ 70年ほど前の教科書の実物を手にとって読めるところがよかった。
- ・ 手にとって見ることができて楽しかった。「コレクション」らしい量的な厚みがあって見栄えがしていると思う。
- ・ 教科書の歴史がわかって、とてもよかった。
- ・ 昔と現在の教科書の違いが見られたのが貴重でした。
- ・ 歴史の授業で学んだ書籍を直に見られたことがよかった（例、学問のすすめ、教育勅語）。
- ・ 教科書の中身も時代によって変わるという事がよくわかった。
- ・ 昭和30年の小学校理科の本等見てみると現在よりも面白そうな感じがしました。絵本というか、本感覚でなかなか面白かったです。

要望

- ・ 主要教材だけでなく、すべての教材の教科書を展示してください。
- ・ 新旧含め、データベースとして閲覧できるようにならないかご検討頂けると嬉しいです。
- ・ 充実した内容に感激しました。壁面の掲示物もゆっくり読ませていただきたく図録を発行していただきたいと思います。
- ・ 何度でも展示しても良い。
- ・ 昭和20年代後半以降の教科書も豊富なので、予想される来場者層に対して、「子供の頃に使ったあの教科書が?」といったアピールも可能だと思う。
- ・ 入口壁のパネルの文字が細かいので、少し読みづらい。額入れしてある解説板も、壁面に余裕があるので、内容を二分割して展開しては。
- ・ 戦後間もなくの新聞紙の紙質でできた教科書はないのでしょうか？

アンケート結果から、来場者の満足度が非常に高いことがわかる。自由記

述の内容を見ても、「教科書が時代の流れの中でどのように影響を受けながら変わってきたのかを展示をとおして提示」しようとした今回の展示のねらいは達成できたと言える。「要望」として挙げられている点は、今後の展示の中で改善を検討したい。

4. おわりに

教科書データベースの初期構築完了に伴い、明らかとなった教科書コレクションの現況と企画展示の概要をまとめた。最後に、今後取り組むべき課題として3点を挙げたい。

1点目はコレクションの充実である。寄贈等によって、コレクションの弱い部分を補い、充実を図っていきたい。2点目は、画像データの作成である。著作権保護期間が満了した教科書については、全ページの画像データを作成してデジタルアーカイブに搭載し、教科書データベースとのリンクを検討する。既に教科書の画像データベースを公開している機関との連携の可能性も模索する。3点目は、企画展示の継続開催である。展示を行うことでコレクションの強みや弱点がわかっていくことから、テーマを掘り下げて継続して開催したい。教員と連携して、特定の教科の教育課程や教育方法の変遷を教科書でたどるなどのテーマも考えられる。卒論研究のテーマとして教科書を取り上げる学生がいるならば、その成果を展示することも考えられよう。

注・参考文献

- 1) 昌子喜信ほか. 島根大学所蔵教科書コレクション：概要とデータベース化の取り組み. 松雲. 2016.2, no.18, p.13-32.
- 2) 前掲1) p.23
- 3) 前掲1) p.17-18
- 4) 前掲1) p.18及びp.14-15の図1「組織変遷図」
- 5) 前掲1) p.14-17
- 6) 前掲1) p.18-19
- 7) 前掲1) p.18-19
- 8) 前掲1) p.23

- 9) 東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター. “データベース”. 東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター. (オンライン), http://www.u-gakugei.ac.jp/~currict/data/sougou_01.html (参照2018-01-21).
- 10) 今まど子. “CIEインフォメーション・センターの活動”. 現代日本の図書館構想：戦後改革とその展開. 今まど子, 高山正也編著. 東京, 勉誠出版, 2013.7, p.87-154.
- 11) 前掲10) p.137-140

別表 島根大学教科書コレクションにみる教科書のあゆみ【展示リスト】

		展示資料		
教科等	資料名	編著者	出版年	
A) 翻訳教科書 (1872〈明治5〉～1879〈明治12〉)				
1	読物	西洋事情	福沢諭吉	
2		学問ノススメ	福沢諭吉	
3	綴字	絵入智恵の環	古川正雄	
4	修身	泰西勸善訓蒙	ボンヌ [著]；箕作麟祥譯述	
5		童蒙をしへ草	[チャンブル著]；福澤諭吉譯	
6	理学	物理階梯	片山淳吉纂輯	
7	地理	世界国尽	福沢諭吉	
8		地理初歩	師範学校編	
9	歴史	史略	文部省, 木村正辞	
B) 儒教主義の教科書 (1880〈明治13〉～1885〈明治18〉)				
1	読書	小學読本	若林虎三郎編輯	
2	修身	小學修身訓	西村茂樹選録	
3	唱歌	小學唱歌集	文部省音楽取調掛編纂	
4	博物	通常動物	辻敬之 著	
5		通常植物	辻敬之 著	
	その他	学制	文部省	
教授法		改正教授術	若林虎三郎, 白井毅編纂	
		小学教師必携	諸葛信澄著述	
		庶物指教	塞兒敦 [著]；永田健助譯	
C) 明治の検定教科書 (1886〈明治19〉～1903〈明治36〉)				
1	読書	読書入門	文部省編輯局編	
2		尋常小学読本	文部省編	
3		日本読本：都市用	新保磐次著	
4		日本読本：郡村用	新保磐次著	
5	修身	明治修身書：尋常小学校生徒用	峰是三郎編纂	
6		修身入門：生徒用	末松謙澄著	
7		修身入門：教師用	末松謙澄著	
8	歴史	小学歴史	小幡篤次郎編	
9		小学日本歴史	教育学館編	
10		小学内国史補習	新保磐次著	
	その他	教育勅語衍義	那珂通世, 秋山四郎謹撰	
教育理論		実用教育学及教授法	谷本富著	
		科学的教育学講義	谷本富著	
		ラインの教育学原理	ウィルヘルム・ライン著；湯本武比古訳	
D-1) 国定教科書【第1期】(1904〈明治37〉～1909〈明治42〉)				
1	国語	尋常小学読本	文部省	
2	修身	尋常小学修身書：児童用	文部省	
3		尋常小学修身書：教師用	文部省	
4	日本歴史	小学日本歴史	文部省	
D-2) 国定教科書【第2期】(1910〈明治43〉～1917〈大正6〉)				
1	国語	尋常小学読本	文部省	
2		尋常小学讀本に現はれたる植物の研究	松江市雜賀尋常小学校研究部	
3	修身	尋常小学修身書：児童用	文部省	
4	日本歴史	尋常小学日本歴史：児童用	文部省	
5		尋常小学日本歴史：教師用	文部省	

展示資料				
教科等	資料名	編著者	出版年	
D-3) 国定教科書【第3期】(1918〈大正7〉～1932〈昭和7〉)				
1		尋常小学読本(黒表紙)	文部省	1917(大正6)
2	国語	尋常小学国語読本(白表紙)	文部省	1917(大正6)～1923(大正12)
3		公学校用国語読本	台湾総督府	1923(大正12)
4	修身	尋常小学修身書	文部省	1927(昭和2)～1930(昭和5)
5		尋常少学国史	文部省	1920(大正9)～1921(大正10)
6	国史	高等小学国史	文部省	1924(大正13)
7		小学国史学習の参考	文部省	1926(昭和1)
8	地理	簸川讀本	鳥根縣簸川郡教育會著	1933(昭和8)
	その他	國體の本義	文部省編	1937(昭和12)
D-4) 国定教科書【第4期】(1933〈昭和8〉～1940〈昭和15〉)				
1	国語	小学国語読本:尋常科用	文部省	1933(昭和8)～1939(昭和14)
2		小学国語読本学習書	河村豊吉著	1935(昭和10)～1940(昭和15)
3	修身	尋常小学修身書	文部省	1934(昭和9)
4		尋常小学国史	文部省	1934(昭和9)～1935(昭和10)
5	国史	小学国史:尋常科用	文部省	1940(昭和15)～1941(昭和16)
6	地理	尋常小学地理書	文部省	1934(昭和9)～1935(昭和10)
D-5) 国定教科書【第5期】(1941〈昭和16〉～1945〈昭和20〉)				
1		ヨミカタ・よみかた	文部省	1941(昭和16)～1942(昭和17)
2	国語	コトバノオケイコ	文部省	1941(昭和16)
3		初等科国語	文部省	1942(昭和17)
4	修身	ヨイコドモ	文部省	1941(昭和16)
5		初等科修身	文部省	1942(昭和17)～1943(昭和18)
6	国史	初等科国史	文部省	1944(昭和19)
7	地理	初等科地理	文部省	1943(昭和18)
8	算数	カズノホン	文部省	1941(昭和16)
戦後の教育改革				
	墨塗教科書	ヨミカタ・よみかた	文部省	1941(昭和16)～1942(昭和17)
		カズノホン	文部省	1941(昭和16)
	その他	新教育指針	文部省	1946(昭和21)～1947(昭和22)
	社会科	くこのあゆみ	文部省	1946(昭和21)
	学習指導要領(第1次)	学習指導要領(試案). 一般編	文部省	1947(昭和22)
		学習指導要領(試案). 国語科編	文部省	1947(昭和22)
		学習指導要領(試案). 社会科編	文部省	1947(昭和22)
		学習指導要領(試案). 理科編	文部省	1947(昭和22)
		学習指導要領(試案). 算数科編	文部省	1947(昭和22)
	学習指導要領(第2次)	学習指導要領(試案). 一般編	文部省	1951(昭和26)
		学習指導要領(試案). 国語科編	文部省	1951(昭和26)
		学習指導要領(試案). 社会科編	文部省	1951(昭和26)
		学習指導要領(試案). 理科編	文部省	1951(昭和26)
	学習指導要領(第3次)	学習指導要領(試案). 算数科編	文部省	1951(昭和26)
		小学校学習指導要領	文部省	1958(昭和33)
E) 文部省著作教科書(1946〈昭和21〉～1948〈昭和23〉)				
1		こくご・国語	文部省	1947(昭和22)
2-1	国語	まことさんはなこさん	文部省	1949(昭和24)
2-2		いなかのいちにち	文部省	1950(昭和25)
2-3		いさむさんのうち	文部省	1949(昭和24)

展示資料			
教科等	資料名	編著者	出版年
3-1	まさおのたび	文部省	1948(昭和23)
3-2	たろう	文部省	1948(昭和23)
3-3	大むかしの人々	文部省	1948(昭和23)
3-4	日本のむかしと今	文部省	1948(昭和23)
3-5	村のこども	文部省	1948(昭和23)
3-6	都会の人たち	文部省	1948(昭和23)
3-7	土地と人間	文部省	1948(昭和23)
3-8	気候と生活	文部省	1948(昭和23)
4-1	小学生の科学	文部省	1948(昭和23)
4-2	観察と実験の報告	文部省	1948(昭和23)
5	さんすう・算数	文部省	1947(昭和22)
6	小学生の算数	文部省	1949(昭和24)
F) 戦後の検定教科書(1949(昭和24)～現在)			
1	国語 【日本書籍】	たろうはなこくごのほん 太郎花子国語の本	日本書籍国語編修委員会 編
1-1		太郎花子国語の本: 編集の趣意	井上越編
2	国語 【学校図書】	一～六ねんせいのこくご (一～六年生の国語)	志賀直哉ほか
3		あたらしいこくご 新しい国語	柳田国男編
4	国語 【東京書籍】	新編 あたらしいこくご 新編 新しい国語	柳田国男編
5		あたらしいこくご 新しい国語	柳田国男・岩淵悦太郎 編
6		あたらしいしゃかい 新しい社会科	海後宗臣編
7	社会 【東京書籍】	あたらしいしゃかい 新しい社会	海後宗臣編
8		新編 あたらしいしゃかい 新編 新しい社会	海後宗臣編
9		あたらしいりか 新しい理科	服部静夫編
10	理科 【東京書籍】	新編 あたらしいりか 新編 新しい理科	茅誠司・服部静夫 編
11		新編 あたらしいりか 新編 新しい理科	茅誠司・服部静夫 編
12		あたらしいさんすう 新しい算数	彌永昌吉編
13	算数 【東京書籍】	あたらしいさんすう 新しい算数	彌永昌吉編
14		新編 あたらしいさんすう 新編 新しい算数	彌永昌吉編